

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-75

<b>部門名：</b> 校内研修プログラム 開発・実践部門	<b>エントリー名：</b> 大分市立高田小学校 佐藤宏明 平成 30 年度 第 1 回校長研修
<b>活動名：</b> ○ 人材育成の為に校内 O J T ・ 育成における校長のリーダーシップ	
<b>解決すべき課題：</b> 自校の実態から、課題を「人材育成に係わる校長のリーダーシップとはどういうものか」とした。 この課題を解決するにあたり活用した講義は、「学校組織マネジメント（北神正行氏）」、「学校ビジョンの構築とリーダーシップ（河村茂雄氏）」、「研修プログラムの開発と実践的応用（大杉昭英氏）」である。	
<b>目標・方針：</b> 自校教師の人材育成を推進するために、下記の 3 つの目標を立てた。 ① 若手教員の育成・・・授業力や学級経営力を育成していく（ウェルカム授業） ② ミドルリーダーの育成・・・主要主任としての力量を育成していく（校内ミドルリーダー研修） ③ 人材育成を支える手立て・・・知・徳・体の 3 部会の組織的な取り組みを行う（年間計画の作成）	
<b>活動内容：</b> 上記の 3 つの目標を実現するために、それぞれ①～③の取組を行っていった。 ① 20 歳代の教職経験が少ない者を対象に、9 月～1 月にかけて計 12 回のウェルカム授業の取組を行った。ウェルカム授業とは、校内のベテラン教員が若手の希望に沿って授業を公開するというものである。 ② 主要分掌主任や学年主任を対象として、3 回の校内ミドルリーダー研修を実施した。研修では、教員組織所属意識尺度のアンケートを通して自己や自校組織の振り返りを行ったり、ミドルリーダーが効果的に機能し組織的な運営体制への理解を深めたりした。 ③ 部会ごとに P D C A サイクル（短期・中期）を明確に位置付けた次年度の年間計画を作成し、職員が代わってもミドルリーダーたる主任等が効果的に取り組みを進めていけるようにした。	
<b>活動の成果：</b> ①～③について下記の成果を上げることができた。 ① 若手教員の授業力が少しずつ向上し、ベテラン教員の授業の良さを積極的に取り入れている場面が多く見られた。また、ベテラン教員も自分の授業スタイルを見直す機会になった。 ② ミドルリーダーたる主要主任が、各分掌で学校の重点課題をよく理解し、その解決に向かってより主体的に取り組むようになった。 ③ 年間計画の作成によって、重点課題に対する意識が高まり、次年度を待たずして効果が表れてきた。	
<b>アピールポイント（アイデアや工夫）：</b> 昨年度の成果を踏まえ、今年度は下記のように①～③の取組について、さらに発展させていこうとしている。 ① 昨年度のウェルカム授業を、今年度は校内研修の枠組みに沿った全教員が授業公開する互見授業へと発展させ、日常的な授業改善の推進を目指している。 ② 校内ミドルリーダー研修は、新学習指導要領の実施を目前に控え、カリキュラムマネジメントの視点から各主任を対象に実施し、教育課程編成力を高めている。 ③ 昨年度末に作成した年間計画を実施しながら、学期ごとに加筆・修正を加えていくことにより、より実態に即したものに改善していった。	

〈写真、図表添付欄〉

① ウェルカム授業（若手教員の育成） 10 名の中堅・ベテラン教員が、若手の希望に沿って授業を公開した。



4 年生理科「実験の注意」



3 年生算数「板書の工夫」



6 年生国語「ノート指導」

◎ 本年度は、校内研修の枠に沿って全員が授業を公開する互見授業に発展させている。



課題への見通しを持たせる



ペアトークの効果的な活用

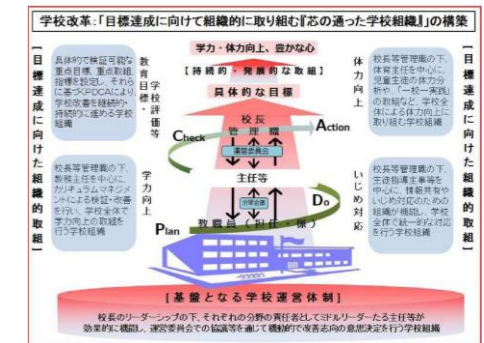


ホワイトボードによる可視化

② ミドルリーダーの育成

「自主・向上性尺度」、「同僚・協働性尺度」、「教職のやりがい尺度」、「学校・場面ストレス尺度」の観点からアンケートを行い、個々の教員が自身や自校組織の所属意識を振り返った。そして、その上でより望ましい所属意識について協議を行った。

さらに、大分県教育委員会の推進している『「芯の通った学校組織」の構築』についても関連させて講話を行い、基盤となる学校運営体制構築するためには、ミドルリーダーの育成が必要とされていることについて理解を深めた。



大分県『「芯の通った学校組織」』

③ 3 部会の年間計画表の作成

(知部会)

項目	内容
1. 目的	知部会の年間計画を策定し、実施する。
2. 対象	知部会所属の教職員。
3. 実施期間	平成 30 年度 10 月～9 月。
4. 実施場所	本校。
5. 実施内容	知部会の年間計画を策定し、実施する。
6. 評価	知部会の年間計画の達成率を評価する。

研修を A～C の 3 つに分けて計画を組む

(徳部会)

項目	内容
1. 目的	徳部会の年間計画を策定し、実施する。
2. 対象	徳部会所属の教職員。
3. 実施期間	平成 30 年度 10 月～9 月。
4. 実施場所	本校。
5. 実施内容	徳部会の年間計画を策定し、実施する。
6. 評価	徳部会の年間計画の達成率を評価する。

重点目標の P D C A サイクルを位置付ける